

平成30年度学校票（職員自己評価）結果考察（平成30年7月との比較）

1 主な指標の変化

- | | |
|---------------------------------|------------|
| (1) 学校教育目標が地域・保護者・児童に理解され生かされた | 89→94ポイント |
| (2) 教師と児童、児童同士の間関係が深まった | 92→98ポイント |
| (3) 教室経営に工夫ができた | 88→93ポイント |
| (4) 児童は意欲的に学習や学校生活に取り組んでいる | 93→98ポイント |
| (5) TT授業や少人数指導が効果的になされ児童が変容した | 93→98ポイント |
| (6) 教師側の向上があった | 93→98ポイント |
| (7) 研究課題への取組状況 | 97→94ポイント |
| (8) 研修の成果は児童に変容をもたらした | 85→98ポイント |
| (9) 教師自身の向上があった | 90→97ポイント |
| (10) 特別支援教育について職員が共通理解し指導・支援できた | 90→98ポイント |
| (11) 巡回相談の指導を生かし支援ができた | 87→93ポイント |
| (12) 学校緑化が計画的に行われた | 88→94ポイント |
| (13) 安全に対する実践力が身についた | 85→80ポイント |
| (14) 情報機器を活用した授業実践ができた | 93→100ポイント |
| (15) 指導を通して「道徳的心情や道徳の実践力」は高まった | 87→95ポイント |
| (16) 学級活動は学級経営案・年間指導計画に沿って実践した | 96→89ポイント |
| (17) 保健指導を通して自己管理のできる児童が育っている | 86→92ポイント |
| (18) 外国のことや日本文化に興味関心をもたせる指導をした | 80→98ポイント |
| (19) 福祉に関心を持たせる教育活動の実践に取り組めた | 85→89ポイント |
| (20) 福祉体験活動を通して福祉の心が児童に育成された | 83→89ポイント |
| (21) 福祉体験活動の計画や内容は適切に行われた | 85→94ポイント |
| (22) 人権尊重を基盤とする学級経営の充実が図られた | 95→100ポイント |
| (23) 全校朝会、児童集会に対する児童の意識は高まった | 95→100ポイント |
| (24) 学校行事は精選されている | 93→87ポイント |
| (25) 充実した学校生活のために積極的な指導・支援ができた | 93→100ポイント |
| (26) 環境整備・美化・管理が計画的に進められた | 91→95ポイント |
| (27) 学校応援団を有効に迎え入れ役立てている | 89→100ポイント |
| (28) 保護者と教育の方針について共通理解は図られた | 86→100ポイント |
| (29) 購入された備品等が適切に活用されている | 92→100ポイント |

2 学校教育目標の具現化に向けた指標の変化

- (1) 学校教育目標を理解し、教科等、学校生活に生かした 99→99ポイント
- (2) 学校教育目標を学年や学級経営の中に生かした 98→97ポイント
- (3) 学校教育目標が地域・保護者・児童に理解され生かされた 89→94ポイント

3 学校研究課題の具現化に向けた指標の変化

- (1) 学校研究課題・研修計画は適切だった 90→92ポイント
- (2) 学校研究課題への取組状況 87→94ポイント
- (3) 研修の成果は児童に変容をもたらした 85→98ポイント
- (4) 教師自身の向上があった 90→97ポイント

4 次年度に向けての展望

- (1) 学習習慣の育成と定着
 - 家庭学習や読書の習慣
- (2) 学力向上
 - 授業方法の工夫改善（わかりやすい授業）
 - 伸びる児童を更に伸ばす
 - 自分の考えを書く
 - 自分の意見を伝える
- (3) 人間関係を円滑にするためのコミュニケーション能力の育成
 - あいさつや返事、お礼や謝罪の言葉が相手に伝わるように言える